

中学生が和水町の未来を語る。

もくじ

一般質問

菊水中学校	02
三加和中学校	05

子ども議会だより

2026年
7月22日(水)
開催



一般質問 Question and Answer

登下校の安全確保に向けた 夜間の街灯設置と道路環境の改善を



菊水中学校
ふか うら 深浦 愛菜 議員

当日は欠席のため予定していた
質問及び答弁について掲載します

Q 深浦 夜間や冬の部活動
終わりの下校時間帯は、地域の
街灯がない場所が非常に暗く、
安全面で大きな不安を感じてい
ます。また、町内では自転車事
故も発生しており、生徒の不注
意だけでなく、道路環境の悪さ
も原因の一つではないかと考え
ています。
実際、道路脇の雑草が多く生い
茂り、自転車で避けようとして
危険な場所があります。さらに、
曲がり角の手前まで近づかない
と先が見えないカーブミラー
や、道がでこぼこして通行し
にくい場所などがあり、注意
していても事故につながる可
能性があります。
生徒会でも定期的に交通安全の
呼びかけを行っていますが、
生徒全員が安心して通学でき
るよう、夜間の街灯設置や道路
状況の改善について協議して
いただきたいです。

A 町長 日頃から生徒会活動
を通じて交通安全を呼びかけて
いただき、また、車移動が多い
大人では気づきにくい道路の雑
草や路面の傷みなど、現場の危
険について教えていただき非常
にありがたく思っています。
通学路の安全確保のため、町で
は令和8年6月15日に学校や道
路管理者と合同で通学路の点検
を行い、現地を確認しながら協
議を進めています。
夜間の照明については、行政区
が行う防犯灯設置への補助を行
うとともに、集落から離れた暗
い場所については町が直接整備
を進めています。特に以前から
要望のあった江田川沿いには、
今年度中に太陽光発電による自
発光タイプの照明機器を設置す
る計画です。
また、道路の補修やカーブミ
ラーの整備に向けて、今年度は
例年より多くの予算を確保して
おり、点検結果を踏まえて優先
順位をつけながら工事を進めて
まいります。県が管理する道路
についても速やかに改善を要望
していきますので、今後も危険
な場所があれば教えてくださ
い。

答弁に対する感想

同級生の意見を取り入れながら
まとめた質問に対し、丁寧にお
答えいただきありがとうございます。
今回の答弁を聞いて、私たちの
安心と安全を守るために、町が
さまざまな視点から考え、検討
してくださっていることがよく
分かり大変嬉しく思いました。
これから、私たち生徒だけで
なく地域の方々一人ひとりが安
心して過ごせる町づくりのため
に、町民の声を大切にしながら
取り組んでいただけたら嬉しい
です。

害獣被害対策と地域の取り組みについて



菊水中学校
たなか もとぎ 田中 元稀 議員

Q 田中 和水町は豊かな自然
と盛んな農業が大きな魅力で
すが、一方でイノシシなどの害
獣被害が深刻な問題になってい
ます。実際、和水町では、イノ
シシの目撃情報が多数あります。
私の祖母が育てた畑の野菜が荒
らされ、大変落胆していました。
また、私自身も登校中にイノシ
シと遭遇し、強い恐怖を感じた
ことがあります。
害獣も生き物であり対策の難し
さは理解していますが、農家の
みなさんが安心して農業を続け
られ、町民が安全に暮らせるよ
う、町としてさらなる被害対策
の協議と対応をお願いしたいで
す。

A 町長 ご家族のご苦労や落
胆されたお気持ち、登校時の怖
い思いについてもよく伝わって
きました。イノシシなどによる
農作物被害は、地域の農家の皆
さんの収入や生活を守るだけ
でなく、私たち住民の安心・安全
な暮らしにも関わる非常に重要
な課題です。
町では現在、主に3つの軸で対
策を進めています。1つ目は捕
獲による個体数管理です。猟友

会のご協力のもと、令和6年度
には過去10年間で最多となる
1,233頭を捕獲しました。
併せて、狩猟者の高齢化に対応
するため、免許取得費用の助成
や研修会を行い、次世代の人材
育成に力を入れています。2つ
目は侵入防止策です。電気柵や
ワイヤーメッシュ柵の設置費用
を補助するほか、箱わなの貸し
出しにより自衛手段を支援して
います。3つ目は寄せ付けない
環境整備です。熊本県が推進す
る「えつけSTOP」運動に基づ
き、放置された農地の草刈り
や収穫残さの撤去を地域ぐる
みで進め、動物の隠れ家や餌場を
減らす取り組みを展開していま
す。

答弁に対する感想

町が捕獲や防護策だけでなく、
高齢化を見据えた人材育成や環
境整備など、将来のことまで考
えられていてとても安心しまし
た。また、捕獲したイノシシを
ジビエとして活用し、命を無駄
にしないという考えも素晴らしい
と思います。これからも和水
町の一員として、この町がもつ
と素敵な町になるよう、自分に
できることから活動を始めてい
きたいと思います。

空き家を活用した中高生の居場所づくりを



菊水中学校
まつの 松野 世愛 議員

Q 松野 現在、町内には公民館などの施設がありますが、中高生が放課後や休日に気軽に集まって勉強や交流ができる場所が不十分だと感じています。一方で、町内には多くの空き家が存在しており、防犯面や景観の悪化、地域の活気低下につながる問題だと思っています。

そこで、空き家を改修して自習や友人と交流ができるスペースを整備することを提案します。新しい施設を建設するより費用を抑えられ、空き家問題の解決にもつながります。中高生の頃から地域に愛着を持ち「将来も住み続けたい」と思える町にするためにも、空き家対策と若者支援を同時に進める取組について、ぜひご検討をお願いしたいです。

A 町長 地域の課題を若い世代の居場所という新たな価値に変える、夢のある貴重な提案に深く感謝いたします。町内の空き家は調査で589戸あり、今年度は最新の実態調査と併せ、所有者の方へ今後の活用意向を伺う意向調査を実施します。その中で「若い世代の活動の場として提供してもよい」というお考えがあるかも把握してまいります。

いと考えております。空き家を学習スペースとして運営するには、安全性を確保する改修費や管理人の配置、維持費など解決すべき課題があり、財政面や安全管理の観点から現段階では慎重に判断せざるを得ません。

一方で、旧春富小学校の2階に整備した「複合型ワークスペース」を7月25日にオープンいたします。空調やWiFi環境が整っており、大人だけでなく中高生の学習や交流の場としても活用いただけます。また、中央公民館や三加和公民館にも学習スペースを設置しています。ご提案をそのまま形にするのは難しいものの、自分たちの手で町を良くしたいという強い思いは、今後の貴重なご意見として受け止めさせていただきます。

答弁に対する感想
和木町の未来をつくるために、今ある課題と真剣に向き合い解決策を考える大切さを改めて実感しました。町内に589戸もの空き家があることを知り、大変驚きました。

また、7月25日にオープンする「複合型ワークスペース」は、空調やWiFi環境が整備され、私たち中高生も利用できるよう考えていただいていることが分かり、とてもありがたかったです。居場所が増えることで、夏休みなどの休日もより有意義に過ごせそうです。これからも和木町の未来のために、自分たちができることから行動していきたいと思っています。

登下校見守りシステム導入と通学路の安全対策について



菊水中学校
なかやま ひりゅう 中山 飛竜 議員

Q 中山 保護者や地域の見守り隊のご協力のもと安全指導を継続していますが、下校時間が遅くなる季節や行事の時期は保護者も不安を感じています。全国的にも不審者事案が増加しており、登下校時の安全面への不安が強まっています。

そこで、タブレットを活用した登下校確認システムやGPS機能を持つ見守り端末の導入、保護者への通知機能の整備を検討していただけないでしょうか。

A 町長 児童生徒の安全確保は本町にとっても重要課題であると重く受け止めています。位置情報を活用した見守りシステムの導入については、プライバシー保護の観点から過度な管理・監視とならないよう配慮が必要であり、通知機能の維持管理費用なども含めて導入事例を参考に慎重に検討してまいります。

Q 中山 夜道の暗さを解消する街灯の増設をしていただけないでしょうか。

A 町長 街灯については行政区への補助や町による設置を進めており、「夜道が暗くて怖い」という声を受け止めながら、学校や警察、県などの関係機関と協力して通学路の安全づくりに取り組んでいます。

Q 中山 安心して立ち寄れる「こどもの家」の設置、見守り隊の増員など、児童生徒が安心して通学できる環境づくりをお願いしたいです。

A 町長 かつて設置されていた子ども110番の家への必要性について学校での再検討をお願いするとともに、青色パトロールによる巡回指導や防犯カメラを活用した見守りを推進していきます。

A 教育長 見守り隊のご要望についてですが、菊水小学校では現在15名の方に活動いただいているほか、その他の学校におきましてもPTAや学校運営協議会、民生委員の皆さまによる定期的な見守りが行われています。今後も町全域で見守り活動の維持や強化ができるよう、学校とともに地域へのさらなる協力の呼びかけを行ってまいります。また、今年度の通学路点検におきましては、学校だけでなく保護者や登下校している児童生徒の皆さまの声も聞きながら実施いたしました。今後とも通学路における危険箇所の把握と迅速な改善に努めてまいります。

答弁に対する感想
位置情報の取り扱いにはプライバシー面での慎重な判断や検討すべき課題が多くあることを知り、また、大切な命を守るためにもGPS機能の活用は今後も検討していただけたとありがたいです。社会人のタイムカードのように、学校到着や下校時に保護者へ通知が届く仕組みなど、できる形を検討していただきたいです。通学路についても、年に一度の点検だけでなく季節の変わり目や大雨・台風の後など危険が増す時期にも点検を行っていたいただき、小中学生が安全に通学し、町民が安心して暮らせるまちづくりをお願いいたします。

玄関口の魅力を発信！ 菊水IC周辺の有効活用と賑わいの創出



菊水中学校
しもだ せな 議員
下田 汐夏

Q 下田 和水町には、周辺自治体にはない大きな強みとして九州自動車道の菊水インターチェンジがあります。現在、町では人口増加や移住促進に力を入れていますが、大きな強みであるインターチェンジを十分に活用できていないのではないかと思います。インターチェンジは、町外から多くの人が訪れる玄関口になります。そこで、地域の特産品を販売する直売所の活性化や観光情報の発信施設、休憩スペースやイベント広場などの設置を提案します。また、「インターチェンジのある町」として交通の利便性を積極的にPRすることで、町外から多くの人が立ち寄りたくなる魅力的なまちづくりや、移住者の増加、地域の活性化につなげていただきたいです。

A 町長 本町の九州縦貫自動車道菊水インターチェンジを有しているという立地を生かし、観光客の誘致や移住者の獲得につなげていくという考えは、大変重要な視点であると受け止めております。いかに活かすが、これからの和水町の未来をつくる鍵になると、私たちも全く同じ思いで取り組んでいます。

答弁に対する感想
提案を前向きに受け止めていただき、大変嬉しく思いました。インターチェンジの立地を生かした観光PRや移住促進、サービスエリアでのパンフレット設置など、さまざまな工夫が行われていることを知りとても勉強になりました。

福岡都市圏まで60分という交通アクセスの良さは本町の大きな強みであり、観光PRや移住相談会、近隣サービスエリアへの観光パンフレット「旅色」の設置などを通して積極的にアピールしています。

さらに「和水町へ来る目的」をつくるため、今年度は菊水インターチェンジ近くの「道の駅きくすい」を軸に、江田船山古墳や肥後民家村、カヌー・キャンプ場などの周辺施設と連携した基本構想を策定します。また、国土交通省の「かわまちづくり支援事業」に登録し、高速道路周辺と菊水口マン館周辺の2箇所で水辺アクセスの整備やイベント利用ができる河川敷の形成を、国と連携して中長期的に整備する予定です。今後も玄関口としての魅力を最大限に生かしまちづくりを進めます。

今回初めて子ども議会に参加して、とても緊張しました。議会が始まって一番最初の発言が私で、どんな声色で話せばいいかなど不安でいっぱいでした。でも、議会が進むにつれ、慣れてきて緊張がほぐれていきました。

また、議会の中で和水町に住んでいるけれど、まだまだ知らないことばかりだなと思いました。例えば、小学校をリノベーションして勉強する場所を作っていることや、町が空き家の調査をしているということです。私は家では勉強をすると集中力が続かず、すぐにやめてしまいます。でも図書館などに行くと集中できるので、私みたいな人はそのような勉強できる場所があればとてもいいと思いました。

また、空き家に関しては空き家を使って何かをするためには、その空き家を持っている人に確認をとらないといけなかったり、所有者が分からなくなってしまうたりするのは大変だなと思いました。子ども議会で改めて、これから少しでも和水町のためになりたいと思いました。

今回の和水町子ども議会を通して、和水町の実態や課題、それに対する取り組みについて知ることができました。私は、「害獣の対策について」と「通学環境に関わる交通機関及び安全対策について」の2つが特に心に残りました。なぜなら、私のこれからの生活に関わってくると思ったからです。私も家の近くでイノシシやアライグマといった害獣を見ることが多くなりました。ニュースでもクマが市街地に出没しているという報道がされています。和水町でも適切な対応を続けていってほしいです。

また、高校に通う際の補助金制度があるのを知らなかったのも、うまく活用できないか検討しながら進路を選択しようと思いました。

初めての子ども議会は議長という立場で参加させていただき、とても緊張しました。しかし、優しいサポートもあったので、緊張も解れ、スムーズに進められました。大変貴重な経験ができました。ありがとうございました。

議長の感想



菊水中学校
たじり さくら 議長
田尻 桜彩



菊水中学校
まきしま しおり 議長
牧嶋 志織

一般質問 Question and Answer

綺麗なまちを守る ポイ捨て防止と美化活動の促進について



三加和中学校
いちむら ゆうか
市村 優加 議員

当日は欠席のため予定していた
質問及び答弁について掲載します

Q 市村 毎朝のボランティアで学校周辺のゴミ拾いを行っています。商業施設の周辺や通学路ではお菓子の袋やスミージーの容器などのポイ捨てが見られます。三加和の豊かな自然と綺麗な環境を守るためにも、ポイ捨て禁止看板の設置やマイバッグ持参の呼びかけ、商業施設へのゴミ箱設置といった対策をご検討いただきたいです。

A 町長 毎朝のゴミ拾いボランティアをはじめ「自分たちの手で地域をきれいにしよう」という姿勢に深く感謝と敬意を表します。ポイ捨ての現状については重く受け止めており、今後は通学路や商業施設周辺に目で伝わる新しい啓発看板の設置を進めるとともに、店舗出入り

口等でのポスター掲示を積極的
に働きかけてまいります。
商業施設へのゴミ箱設置につ
いては、ガラスによる被害や事業
ごみの処理費用・手間といった
お店側の負担が生じるため町か
ら強制することはできません。
しかし、中学生が美化活動に励
んでいる生の声をお店の責任者
に直接届け、設置や店舗周辺の
美化活動について誠意を持って
協力をお願いしてまいります。
若い世代の意識と地域住民のマ
ナー、事業者の協力と連携しな
がら全力を尽くします。

答弁に対する感想
単純にゴミ箱を設置するだけで
は解決できない課題や費用の問
題など、想像以上に難しいこと
が分かりました。

しかし、私たちの思いや提案を
真摯に受け止め、具体的にお店
へ働きかけなどの対策を考え
てくださっていることを大変あ
りがたく思います。今後は個人
としてだけでなく中学校全体
にも美化の啓発を行い、朝のゴミ
拾いボランティアを継続しなが
ら、和水町を綺麗なまちにし
ていくために行動していきたいで
す。



まちの未来と財政を考える！ 町議会議員定数の見直しについて



三加和中学校
はやしだ あかり
林田明香里 議員

Q 林田 和水町と人口規模が
近い他自治体では議員定数10名
を採用している地域が見られま
す。本町でも若年人口の流出や
定数削減による財政負担の軽
減、人件費削減分を新たな政策
や企業誘致へ活用していく視点
から、現在の12名という議員定
数の見直しをご提案いたしま
す。

A 町長 近隣自治体でも見直
しが進んでおり、本町でも合併
当時の16名から段階的に見直し
を行い、平成30年より現在の12
名となっています。
議員定数の削減には人件費など
の経費抑制につながるメリット
がある一方で、多様な住民の声
や民意が町政に届きにくくなる
懸念も存在するため慎重な対応
が求められます。いただいた定

数削減のご意見については確実
に議会へ伝えとともに、議会
報告会などを通して議員の活動
や生の声を知っていただく機会
づくりも働きかけてまいります
。定数のあり方については議
会を中心に慎重な議論が行われ
る必要があると考えます。

答弁に対する感想

今回、和水町だけでなく、他地
域の課題や、それに対する取り
組みについて学ぶことができま
した。特に、過疎化が進む地域
の議会には、地域課題の複雑さ
や成り手不足、そして定数削減
がもたらす新たな課題など、ま
ちづくりの難しさを深く学びま
した。

子ども議会への参加は今回で2
回目となりましたが、地元のま
ちづくりに再び関わることがで
き大変嬉しく思っております。
この経験を生かし、将来は微力
ながらも和水町の発展にしかっ
り貢献できる人になりたいと思
いました。



一般質問 Question and Answer

空き家・古民家を活用し町を元気に



三加和中学校
ひろわたり はると
廣渡 陽人 議員

Q 廣渡 全国的な少子高齢化や人口減少に伴い、和水平町内でも管理が行き届いていない空き家が見られます。空き家の放置は防犯や防災上の危険性だけでなく景観の悪化も招くため、適切な管理と有効活用が重要だと考えています。

そこで、空き家や古民家を地域活性化の資源として活用することを提案します。例えばカフェや飲食店、観光客向けの施設、地域交流施設などとして活用することで地域の活性化やにぎわいや人口の増加につながると考えます。和水平町の魅力向上と地域活性化のため、空き家の有効活用に向けてもっと深く考えるべきだと思っています。

A 町長 町では実態把握のため、今年度改めて「空き家実態調査」と所有者の意向を伺う「意向調査」を実施します。あわせて危険な空き家の解体補助を行い、通学路や生活環境の安全確保も並行して進めています。利活用については「空き家バンク制度」を通じて移住者とのマッチングを行っているほか、空き家や古民家を活用して新たに事業を始める方向への「創業

支援補助金」などのサポート制度を用意しています。一方で、仏壇や思い出の品の片付け、相続問題など所有者ご家族の心や法律面に寄り添う丁寧な解決も求められます。町が目指している方向性と同じであり、若い世代のみならず、そのような熱い思いを持つ町の未来を考えてくれていることを、たいへん嬉しく、また心強く思います。今後も空き家バンクをはじめとする移住支援や、創業される方へのサポートなど、様々なメニューを組み合わせて、空き家の有効活用と地域の活性化に一層力を入れて取り組んでまいります。

答弁に対する感想
町が行っている取り組み、計画などについて理解することができました。今後もその方針を踏まえて空き家の有効活用と地域の活性化に一層力を入れていただきたいと思います。難しい課題であるとは思いますが、地域の発展のためによろしくお願いいたします。



町民交流の輪を広げる！ 社会体育施設の活用と憩いの場づくりの提案



三加和中学校
うえの ゆうま
上野 優真 議員

Q 上野 町民が利用できる「スカイドーム2000」などの広いコートを生かし、スポーツ交流戦やイベントを定期的に開催することで、健康増進や町民同士のコミュニケーションを図る機会をさらに増やしていただきたいです。

A 町長 日頃からのスカイドーム2000の利用に感謝するとともに、町民交流や健康増進に向けた素晴らしい着眼点に感じいたします。スカイドーム2000や町体育館には空調が完備されており、式典やスポーツ、県内外の団体利用など多目的に活用しています。今後も社会体育施設を生かした交流イベントの充実を図ってまいります。

A 教育長 今年度の社会体育イベントとして、9月の「ナゴミ夢チャレンジトーク」や、10月の「なごみスポーツの日」を開催します。「なごみスポーツの日」の2日間は町内11の社会体育施設を終日無料開放し、ベタリンクやeスポーツなどを気軽に楽しんでもいただけます。さらに、11月の「金栗四三翁マラソン大会」では中学生の起業

体験やキッズ・プロジェクトによるおもてなしを予定しているほか、来年2月には「なごみ駅伝」の開催も計画しています。今後も児童生徒の皆さんと連携しながら、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を推進してまいります。

Q 上野 南関・菊水・三加和を繋ぐ交通の要所である梶原交差点周辺の土地について、商業施設や住民の憩いの場としての有効活用することを提案します。

A 町長 梶原交差点周辺の土地につきましては私有地であり、町での整備は難しいものがあります。なお、憩いの場としては三加和温泉近くの「いだてんパーク」に今年度プランコや日よけを増設する予定ですので、ぜひご活用ください。

答弁に対する感想
梶原交差点が町所有のものではなく私有地であることを初めて知りました。課題の解決は容易ではないと思いますが、前向きに検討を継続していただけたことを期待します。今後もスカイドーム2000でスポーツをしたり、いだてんパークで遊んだりして施設を活用していこうと思います。また、和水平スポーツの日に参加したことがありますが、その体験がとても楽しいものでした。もっと多い頻度でこのような機会があって欲しいと思っています。

一般質問 Question and Answer

安心して進学・通学できるまちへ！ 通学環境整備と通学路の安全対策について

Q 東原 登下校で利用する通学路には夜間暗い場所や見通しの悪い交差点・カーブが多く存

A 町長 高校生の通学環境や安全対策に関する当事者ならではの貴重な提案に感謝いたします。まず、地域公共交通の考え方としては、「路線バス」や「一般タクシー」等の既にある公共交通手段を最大限に活用することが基本的な考え方になります。「あいのりくん」を直接送迎に活用することは地域公共交通の観点から難しい側面がありますが、町では通学負担軽減のため「路線バス定期券購入補助金」やバイク等の「交通用具購入費補助金」を設けて支援を行っています。

Q 東原 和水町が安心して暮らすことができ、将来も住み続けたいと思える町にするために、通学環境と安全対策について提案します。
町外の高校へ通う生徒の通学負担や保護者の送迎の負担を軽減し、安心して進路を選択できるように、乗合タクシー「あいのりくん」や既存の路線バスを活用した学生が利用しやすい仕組みの検討をお願いしたいです。



三加和中学校
ひがしはら あすみ
東原 亜純 議員



答弁に対する感想
高校生の通学負担を軽減するために「路線バス定期券購入補助金」や「交通用具購入費補助金」といった具体的な制度を設けてサポートしていただいていることを知り、大変ありがたく思いました。
今回、このような機会をいただき、和水町のことについて深く考えることができたのはとても貴重な体験でした。
和水町の未来を担う私たちの将来が少しでも交通の便で心配しなくていいよう通学手段の確保について検討をお願いします。

A 町長 安全対策につきましては、6月の通学路合同点検を踏まえ、例年より予算を増やしてカーブミラーやガードレールの整備、集落間の照明設置を進めてまいります。さらに町全体の防犯力を高めるため、防犯カメラを今年度新たに7基増設するとともに行政区への設置補助も推進し、学校や関係機関と連携して安全な環境づくりに努めます。

在するため、街灯やカーブミラーの増設など交通事故防止と防犯面における安全な道路環境の整備をご提案いたします。

議長の感想



三加和中学校
ひがしはら こなつ
東原 小夏 議長

今回、私は子ども議会に議長として参加しました。私は昨年度の子ども議会に議員の一人として参加する予定でしたが、体調不良によって欠席し、とても悔しい思いをしました。今年度もこのような機会を作っていただけで、とても嬉しかったです。
実際に議場に入り、議会に参加できる子どもも議会は、とても貴重な経験となりました。
議場に着いたときから、とても緊張していましたが、たくさんの方々に支えていただいたおかげで、最後まで精一杯頑張ることができました。
また、今回の経験を通して、改めて和水町について深く考えることができました。議員のみなさんと町の課題や、よりよい町にするための方法を話し合い、伝えることができました。今回の質問や提案が、少しずつ和水町を良くすることにつながればうれしいです。
貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



今回、子ども議会に議長を務めて、問題を客観的に見る大切さと、議会をスムーズに進める大変さを学びました。
その一方で、議長という立場だったため、一議員として自分の意見を発信しなかったという悔しさも残りました。
もし次の機会があれば、今度は議員として自分も意見を発信したいです。そして、今回の経験で得たことを、これからの学校生活に活かしていきたいです。議会の議長という、このような貴重な経験ができて本当に良かったです。



三加和中学校
やました ゆりな
山下結莉奈 議長



三加和中



和水町
石原 佳幸 町長



和水町教育委員会
米田加奈美 教育長

各中学校を代表する子ども議員の皆さん、子ども議会へのご出席、ありがとうございます。

議場に響き渡る、緊張しながらも堂々とした皆さんの声、そして、和水町をより良くするための真剣な眼差しと鋭い質問の数々に、大きな感動と頼もしさを覚えましました。

今回の子ども議会では、登下校の安全や空き家の活用、にぎわいの創出など、和水町の未来を見据えた素晴らしい提案を多数いただきました。日頃から地域をよく見詰め、「和水町をもっと良くしたい」と真剣に考える皆さんの姿勢は、和水町にとって大きな誇りであり、未来への明るい希望です。

大人だけでは気づきにくい、子どもたちならではの視点や柔軟な発想は、これからのまちづくりにとって貴重な財産です。今回いただいた一つひとつの大切なご意見をしっかりと受け止め、今後の町政に生かしながら、より良い和水町の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

子ども議員の皆さん、そして温かく見守っていただいたご家族、学校関係者の皆様に心から感謝申し上げます。これからも、ふるさと和水町を大切にしながら、たくましく学び、成長していかれることを心より応援しています。

和水町になって、3回目となる子ども議会が7月22日（水）に開催され、昨年度に引き続き、今年度も中学生が議長の大役を務めました。

参加した中学生は、約2か月間、生徒会などの仕事も果たしながら、この議会に備えてきました。迎えた本議会では、通学環境に関わる交通機関や安全対策などの身近な話題から、高速道路や空き家の有効活用など、多岐にわたる質問が飛び出しました。また、質問だけでなく、町の現状について情報を集め、「どうすればもっと良くなるのか」を自分事として考えた数々の提案がありました。中学生の発想の豊かさに、改めてハッとさせられ、和水町の未来を担う子どもたちの頼もしさを強く実感したところです。

この子ども議会は、参加した中学生にとって和水町の魅力と課題を深く見つめ直す機会になったことだと思います。

今後、「自分たちの手でもっとすてきな町にしていこうのだ」という主体的な一歩を踏み出してくれることを、心から期待しています。